



芝山小だより



12月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

小中連携教育について

校長 寺井 俊敬

2学期が始まったときは、まだまだ熱中症の心配をする毎日でしたが、季節は秋を通り越して冬を感じられる日々となりました。

いよいよ音楽会の日がやってきました。今日は児童鑑賞日、明日は保護者鑑賞日です。音楽会に向けて、子供たちは練習に励んできて、今日の児童鑑賞日の発表も子供たちは精一杯頑張りました。明日は、保護者の皆様の前で、一段と張り切ってくれることを期待しています。コロナ禍が明けて、初めて全員の保護者の皆様が体育館に入っての音楽会となります。体育館のパイプ椅子の他、理科室、家庭科室、図工室の椅子をほとんどすべて並べ、多くの方々が参観できるように準備をしています。それでも、立ち見の方がいらっしゃるかもしれませんが、譲り合ってご参観いただければと思います。

さて、清瀬市教育委員会では、子供たちに育成すべき資質・能力の一つに「清瀬を誇りとし、持続発展の主体者となる力」を掲げています。そこで、本校では、第四小学校、第四中学校と一緒に「中学校区の特色を生かした小中連携教育を推進する」ことに取り組んでいます。

これまでも、6年生が中学校の授業体験・生徒会説明会を行ったり、中学校の職場体験で中学生が小学校の現場で仕事をしたり、小中での連携に取り組んできていました。そして、今年度もそれぞれの中学校区ごとに、特色を生かした小中連携教育を推進するために、研修会を行っています。

そこで、第四小学校、第四中学校と一緒に、児童・生徒に、9月、12月の2回アンケートを取ることにいたしました。

子供たちには、とても思う:4、どちらかというと思う:3どちらかというと思わない:2、と思わない:1の4段階で回答してもらいました。一部紹介いたします。アンケートの結果は、芝山小学校だけでなく、第四小学校、第四中学校も合わせた数値の平均ですが、以下の通りです。

清瀬が好きだ :3. 10

清瀬で学んだことを将来にいかしたい:3. 01 との結果でしたが、

将来も清瀬に住み続けたい :2. 43

清瀬のことについてもっと調べたい :2. 47 との結果でした。

2点台ということで、2もしくは1を付けた児童・生徒もある程度いたことがわかります。

今年度は、新たに中学校修学旅行発表会に小学6年生が参観に行ったり、中学生の作成した本の紹介(POP)を小学校の昇降口に紹介させていただいたりしています。今月には、中学生と小学生と一緒に清掃活動に取り組む計画もされています。

さらに、来年度に向けては、本校の運動会で中学生にお手伝いをしていただく、SDGsについて総合的な学習の時間について7年間(小学校4年間、中学校3年間)の計画を立てていく、小中のルール作り等の案が話し合われています。一度にすべてができるかはわかりませんし、すぐにアンケート項目の結果が改善されるかわかりません。

それでも、「清瀬が好きだ」「清瀬で学んだことを将来にいかしたい」

「将来も清瀬に住み続けたい」「清瀬のことについてもっと調べたい」、

そのような児童・生徒が増えることを期待して、今後も、「中学校区の特色を生かした小中連携教育を推進する」ことに取り組んでいきます。

今後とも、本校、本校を含めた中学校区の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。まずは、明日の音楽会、子供たちの歌、合奏に大きな拍手をお願いいたします。



昇降口前に中学生が作成した本の紹介(POP)を展示しています